

一般質問（令和８年第４回定例会）

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
川 浦 雅 子	1. 「神川町平和のまち宣言」について	1. 平和のまち宣言の具体的な取組について ・ 2026年原水爆禁止国民平和大行進の神川集会において、神川町長からメッセージが寄せられ、代読された。その中で「神川町平和のまち宣言」に触れられ、今後、町内外に向けてアピールしていきたいとの文言があったが、どのようなアピールをしていくのか。 本庄市では、昨年、平和学習の一環として中学生を広島に派遣した。また、同市には平和の木「被爆アオギリ二世」の植樹がある。さらに、美里町では長崎の「被爆クスノキ二世」の植樹が行われている。 具体的に、町ではどのような事業を考えているのか伺う。
	2. 訪問系介護職員の安全確保について	1. 訪問系介護事業における安全対策の現状と課題について ・ 埼玉県議会では、川口市でケアマネジャーが殺害された事件を受け、介護支援専門員の安全確保を推進するため、複数での訪問に係る経費や防犯ブザーの購入費等を含む今年度の補正予算が可決された。なお、来年度以降の対応は未定であるという。 一部の現場からは、対策の難しさも聞いている。 町における訪問系介護事業の実態と、有効な安全対策について伺う。
	3. 国民健康保険税の子どもの均等割について	1. 18歳以下の子どもの均等割免除の考えについて ・ 現在、町では18歳までの第3子以降の子どもに係る均等割の減免を実施している。令和9年度からは、18歳までを対象とした国による軽減が予定されている。 子育て支援や、協会けんぽにはない国保均等割の負担軽減の観点から、18歳以下の子どもの均等割を免除する考えがあるか伺う。

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
新井 太一	1. 耕作放棄地の有効活用について	1. 地域活性化につながる新たな取組について ・耕作放棄地の増加が全国的な課題となる中、神川町における耕作放棄地の現状と対策について伺うとともに、現在実施している「ふれあい農園」の活用状況を踏まえ、耕作放棄地の有効活用や地域活性化につながる新たな取組について、町の考えを伺う。
	2. ラーケーション制度の導入について	1. 地域資源を活かした新たな学びの創出について ・学校での学習に加え、家庭や地域での体験を通じた学びの重要性が高まっている。神川町の豊かな地域資源を活かし、子どもたちの新たな学びの機会として、ラーケーション制度を導入する考えについて伺う。
柴崎 愛子	1. 仮想空間で婚活について	1. メタバースを活用した婚活支援の取組について ・神川町では、これまでも対面による婚活イベントを開催してきたが、成婚に結びつく事例は多くないようである。 メタバースを活用する狙いとしては、マッチングアプリによる出会いが一般化していることに加え、遠方からでも参加しやすいこと、対面でのコミュニケーションが苦手な人への配慮ができること、また、知人に遭遇して身元が知られる不安が少ないことなどが挙げられる。 2026年3月末現在、全国43自治体で取組が進められているとされているが、神川町におけるメタバースを活用した婚活支援の取組について伺う。
	2. 神川中学校校庭での部活動の熱中症対策について	1. ミスト扇風機の導入による暑さ対策について ・夏休み中の部活動を見学したところ、早い部では早朝7時から練習を開始し、気温が高くなる前に終了するなど、暑さ対策が講じられていた。 6月議会でも取り上げたが、屋内では扇風機やビッグファン等による対策が行われている一方、校庭で活動する陸上部や野球部等への暑さ対策として、ミスト扇風機の導入を早急に進める考えについて伺う

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
林部 葉月	1. 不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援について	1. 学校復帰にとどまらない支援のあり方について ・全国的に不登校児童生徒数が増加する中、本町においては学校や関係機関の取組により大きな増加傾向は見られていないものの、長期化しているケースも見受けられる。 不登校支援においては、子ども一人ひとりの状況に応じた支援が求められているが、その目的は、学校復帰のみならず、将来的な社会的自立につなげることにあると考える。 そこで、本町における不登校児童生徒への支援の現状と課題、支援の目指すべき姿、関係機関との連携及び社会的自立に向けた支援のあり方について伺う。
坂田 弘	1. 登下校ボランティアの募集及び通学路の危険箇所について	1. 登下校の見守り体制充実に向けた町の支援について ・7月14日、丹荘小学校の登下校ボランティア会議に出席した。会議では、地域によって登下校ボランティアが不在となっている地区があるとの報告があった。また、校長からは、ボランティアは小学校単位で募集しており、学校だより等で周知しているものの、応募がなかなか得られないとの説明があった。 登下校ボランティアの確保に向け、広報かみかわを活用したボランティア募集の周知や、区長会等の地域の会議に学校関係者が参加する機会を活用するなど、町として支援する考えはあるか伺う。 2. スクールゾーンの安全対策と修繕について ・同会議では、スクールゾーンの危険箇所についても報告があり、緑帯や一時停止の路面標示が消えかかっている箇所、水路にガードパイプが設置されていない箇所などがあることから、これらの安全対策や修繕について町の考えを伺う。

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
坂本 貴佳	1. 町道整備について	1. 道路区画線（白線）等の維持管理について ・今回の中学生議会においても、通学路整備に関する提言がなされた。交通安全の観点から、区画線（白線）の引き直しをはじめとする町道の維持管理について、現状の方針と今後の具体的な対応策を伺う。 - あわせて、自動運転や運転支援システムなど先進安全技術の活用を見据えた道路環境整備に対する認識を伺う。 2. 生活道路における速度抑制対策について ・生活道路における交通安全対策として、視認性が高く速度抑制効果が期待される「30km/h制限」路面標示について、主要箇所や交差点への継続的な設置及び拡大を図る考えはあるか伺う。 3. 今後の整備方針と予算確保について ・中学生をはじめとする若い世代から寄せられた通学路整備に関する提言を着実かつ迅速に施策へ反映するため、今後の整備方針と来年度以降の予算編成における対応について伺う。
剣持真菜美	1. 住民参加・協働のまちづくりを進める庁舎の活用について	1. 役場フリースペースを活用した住民参加の推進について ・神川町では、町民と行政が目標を共有し、協働で進める「町民参加のまちづくり」を掲げ、アンケートやパブリックコメントなどを通じて住民の声を施策に反映する取り組みを行っている。 - こうした取り組みをさらに身近なものとし、町民が日常的に町政に触れ、意見を届け、行政との対話につながる場として、役場1階フリースペースを活用してはどうか。町民の声と行政からの回答を「可視化」するなど、新たな住民参加の仕組みづくりについて伺う。 2. 来庁者が安心して利用できる庁舎環境づくりについて ・近年では、利用者の心理的負担の軽減や待合空間の快適性向上を目的として、庁舎や公共施設にBGMを導入する事例も見られる。本町においても、来庁者が安心して利用できる庁舎環境づくりの一つとしてBGMの導入についてどのように考えているのか伺う。

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
福島 康弘	1. 広報費について	1. テレビ埼玉への広報費の費用対効果について ・テレビ埼玉への年間66万円の支出について、視聴実績や費用対効果をどのように検証しているのか。 また、SNS広報や動画配信等への転換を含め、より効果的な情報発信手法を検討する考えはあるか伺う。
四方田繁男	1. 一般競争入札の基準額の見直しについて	1. 地元建設業者の受注機会確保と地域経済の活性化について ・昨今の資材価格や人件費の高騰により工事価格が上昇し、従来は指名競争入札で対応できた工事が一般競争入札となるケースが増えている。地元建設業者の受注機会確保と地域経済の活性化の観点から、一般競争入札とする基準額について、近年の工事価格の上昇を踏まえて見直す考えがあるか伺う。